



御調プライド

「当たり前のことを当たり前」

令和3年7月15日(木) 第2号(特別号)



「成功者の形ではなく 心を真似ろ」(渋澤栄一)
～本質を見極めないと実践では何の役にも立たない～



生徒の皆さん、もうすぐ1学期が終了します。いかがでしたか。今年度は臨時休業こそありませんでしたが、コロナ禍の中での学校生活は変わらず制約も少なくありませんでした。しかし、「学び」を止めないということで、感染リスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、ICT等を活用し“そうぞう”的に生徒の学習機会を確保してきました。そうした中、先日はグローバル・デイやオリンピックメキシコ代表団とのオンライン交流など思い出もできたように思います。皆さんは我慢強く「新しい生活様式」と誠実に向き合い、学校生活を送っていただき感謝しています。ありがとうございます。

「時を越えた美しさの秘密」

魅力的な唇であるためには、**美しい言葉を使いなさい。**
愛らしい瞳であるためには、**他人の美点を探しなさい。**

(中略)

物は壊れれば復元できませんが、人は転べば立ち上がり、失敗すればやり直し、挫折すれば再起し、間違えれば矯正し、何度でも再出発することができます。

誰も決して見捨ててはいけません。

人生に迷い、助けて欲しいとき、いつもあなたの手のちょっと先に助けてくれる手がさしのべられていることを、忘れないで下さい。

年をとると、人は自分にふたつの手があることに気づきます。

ひとつの手は、**自分自身を助けるため、**
もうひとつの手は**他者を助けるために。**

サム・レヴィンソン

この詩の原文は、アメリカの詩人サム・レヴィンソンが孫娘の誕生に贈った手紙であり、彼の詩集『時の試練を経た人生の知恵』に収録されていたものです。

しかし、現在世の中では先の見通せないストレスからか、社会全般においていられない、かつ心ない言動が少なからず見受けられ、なんとなくギスギス感や否めないようです。始業式でも話をしましたが、「ひとの寂しさやわびしさ、つらさに敏感なこと、これが優しさであり、また人間として一番優れていることではないでしょうか」と。危機を前に人は本性が出る、余裕がなくなった時や追い込まれた時ほ

ど人は本性を現すといった話はよく聞きますが、だからこそ誰もが人間としての在り方生き方をもう一度見つめ直し、相手に対する言葉遣いや行動など思いやりの心を持って、ともに生きていければと切に願っています。

みんなの心を寄せ合い、新たな時代に向けた「御調中文化」すなわち、「御調プライド」**「要～ Be positive and try anything～」**を創造し、発信していきましょう。その一助になればと思い、私の好きなオードリー・ヘップバーンが亡くなる年の最後のクリスマス・イヴに、2人の息子、ショーンとルカに読み聞かせたという詩を毎年恒例ですが紹介します。私がこの詩に出会ったのは20年以上も前ですが、この詩と彼女の生き方に触れ、「人としてどう生きるべきか」また「人はどう在るべきか」など、深く考えさせられたことが今でも思い出されます。

人は年齢を重ねるほど表に内面が現れます。晩年のオードリー・ヘップバーンがまさにそのことを私に教えてくれました。詩の最後には**“人の本当の美しさは、その人の精神に反映されるものなのであり、それは心のこもった思いやりの気持ちであり、時として見せる情熱であり、その美しさは年を追うごとに磨かれていくもの”**と書かれていました。

本校の学校教育目標である**「夢を語り、志を抱いて未来を“そうぞう”できる生徒の育成**」や皆さんの夢や志の実現を目指していく上で、彼女のものの見方・考え方は大いに参考になると考えた次第です。皆さんのこれからの人生において、コロナ禍の生活において何かの参考になれば幸いです。

〈オードリー・ヘップバーン〉1929-1993

- アカデミー賞、トニー賞、エミー賞、グラミー賞のすべてを受賞したイギリス女優です。
※映画「ローマの休日」等、多数有名。
- 1987年にユニセフ親善特別大使に就任しました。最初の訪問地は、飢餓に苦しむエチオピア北部です。
それ以来、1992年秋のソマリアまで30数カ国を訪問しました。
※ユニセフ(UNICEF、国際連合児童基金)は、世界中の子どもたちの生命と成長を守るために様々な活動をしている国連の機関。
- 1993年にガンで亡くなる直前まで、ユニセフの活動で奔走し、飢えに苦しむ子どもたちに見せた笑顔は、神々しかったと評されています。
- 晩年のオードリーは「**たしかに私の顔にしわも増えました。ただ、それは私が多くの愛を知ったということなのです。だから、私は今の私の顔のほうが好きです**」と語っています。



時を越えた美しさの秘密

魅力的な唇であるためには、美しい言葉を使いなさい。
愛らしい瞳であるためには、他人の美点を探しなさい。
スリムな体であるためには、飢えた人々と食べ物を分かち合いなさい。
豊かな髪であるためには、一日に一度子供の指で梳(す)いてもらいなさい。
美しい身のこなしのためには、決してひとりで歩むことがないと知ることです。

物は壊れれば復元できませんが、人は転べば立ち上がり、
失敗すればやり直し、挫折すれば再起し、間違えれば矯正し、
何度でも再出発することができます。
誰も決して見捨ててはいけません。

人生に迷い、助けて欲しいとき、いつもあなたの手のちょっと先に助けてくれる
手がさしのべられていることを、忘れないで下さい。
年をとると、人は自分にふたつの手があることに気づきます。
ひとつの手は、自分自身を助けるため、
もうひとつの手は他者を助けるために。

(オードリーが息子たちに読み聞かせた部分の訳文は以上ですが、詩はさらに続いているので、その部分の訳文も掲載します。)

女性の美しさは 身にまとう服にあるのではなく、
その容姿でもなく、髪を梳くしぐさにあるのでもありません。

女性の美しさは、その人の瞳の奥にあるはずで、
そこは心の入り口であり、愛情のやどる場所でもあるからです。

女性の美しさは、顔のほくろなどに影響されるものではなく、
その本当の美しさは その人の精神に反映されるものなのです。
それは心のこもった思いやりの気持ちであり、時として見せる情熱であり、
その美しさは、年を追うごとに磨かれていくものなのです。

サム・レヴィンソン

"Time Tested Beauty Tips"

For attractive lips, speak words of kindness.
For lovely eyes, seek out the good in people.
For a slim figure, share your food with the hungry.
For beautiful hair, let a child run his fingers through it once a day.
For poise, walk with the knowledge you'll never walk alone ...

People, even more than things, have to be restored, renewed, revived,
reclaimed and redeemed and redeemed ...
Never throw out anybody.

Remember, if you ever need a helping hand,
you'll find one at the end of your arm.
As you grow older you will discover that you have two hands.
One for helping yourself, the other for helping others.

The beauty of a woman is not in the clothes she wears,
the figure that she carries, or the way she combs her hair.

The beauty of a woman must be seen from in her eyes,
because that is the doorway to her heart, the place where love resides.

The beauty of a woman is not in a facial mole,
but true beauty in a woman is reflected in her soul.
It is the caring that she lovingly gives, the passion that she shows,
and the beauty of a woman with passing years only grows!

Sam Levinson

この詩の訳文（訳文は訳者によって若干表現が違います。これはその一つです）と英語の原文も紹介しておきます。自分自身で訳してみるのもよいのでは・・・。